

公募審査（採択）結果の公表

令和5年2月21日
資源エネルギー庁電力・ガス事業部
原子力発電所事故収束対応室

事業名：令和4年度「ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業」

（採択事業者）

事業者名	法人番号	提案価格
一般社団法人漁業経営安定化推進協会	2010005014810	50,000,000,000

（提案事業者名）

一般社団法人漁業経営安定化推進協会

（審査委員属性）

公認会計士

大学教授

学識有識者

※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

（採点結果）

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	平均点
一般社団法人漁業経営安定化推進協会	84	120	147	117

提案事業者名	1. 基金の管理・運用	2. ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業の実施に係る業務	3. 体制整備と事務費用	4. 法人自体について	合計
一般社団法人漁業経営安定化推進協会	24.7	26	26.7	39.7	117.1※

※四捨五入の関係で上記の平均点と一致しない

（評価コメント）

提案事業者名	コメント
一般社団法人漁業経営安定化推進協会	<ul style="list-style-type: none"> ・決裁性預金（無利息）を利用して預金元本の安全性を確保するとの方針であり、資金管理の安全性は考慮されている。 ・事業規模に比して在籍する職員数が少なく、今後事業規模の拡大に応じて職員の採用が必要な状況であるが、業種特性を踏まえた類似補助事業における資金管理や事務局業務実績を有している点において、事業遂行の蓋然性としては評価できる。 ・事業運営に関する業務経費・事務局経費の積算において、補助金総額の数%を事務費と見積もったとの説明があるものの、費目別の積算内訳や年あたりの想定コストの計算も行われていない。他の補助事業実施経験や補助事業の規模から、人件費や交通費・外部委託費などは合理的に積算したうえで提案を行うことが望まれる。 ・全ての役員、責任者が専任ではないことから、責任を持って本事業を進められるのか不安な面がある。 ・提案者の適格性については、これまでの実績を踏まえても全く問題はない。基金の管理については、普通預金及び定期預金での運用ということで、「有利な方法」とは言えないが、安全性を考えれば妥当なものである。 ・支援メニューとして挙げられている「a.新たな魚種・漁場の開拓等に係る漁具等の必要経費への支援 b.省燃油活動等を通じた燃油コスト削減に向けた取組に対する支援 c.漁業者による省資源化・有効利用等を通じた魚箱等コストの削減に向けた取組に対する支援 d.省エネ性能に優れた機器等の導入に要する費用への支援」の4件は、いずれも時宜を得た的確な支援だと評価できる。ただ、それぞれのメニューに係り提案された取組1件につき、どの程度の規模の支援を想定しているのか、また、提案採択のための基準が例示でもよいので示されていることが望ましかったと考える。 ・多額の金額の支援が配分割合も示されず、支援の事業内容案としてすべて「なお、当該事業内容については、貴省と相談の上、具体化していくこととする」と記載されている。より支援事業の具体性や支援採択の方向性が明確な提案書を期待したいところである。